

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル・ホウルの翼(伝言)】

2013年6月号



今年の夏は例年より暑いと言われてい
ますが、確かに熱いかも!!
今月は情熱的なゲストも花巻に来て
みんなで燃え上がりましたよ!!



全国大会王者の不来方の牙城は崩れず！ 女子・白百合は歓喜の初優勝！

まだ春になりたての岩手に、早くも高校生の熱戦到来！第65回岩手県高校総体が5月31日～6月2日まで、花巻市総合体育館にて開催されました！男子は、3月の全国高校選抜大会で全国制覇を成し遂げた不来方高に対し、県内チームがどのような戦いを見せるか、また女子では、エースで主将の遠藤美南選手を怪我で欠く不来方高が連覇を果たすのか、はたまた4月の盛岡市大会で優勝した白百合学園高が初の栄冠を手にするのか、大会前から非常に注目を集めました。花巻勢の活躍と合わせて、大会を振り返りましょう！

<男子> 奇しくも初戦から地元同士の顔合わせとなってしまった花巻北 vs 花巻農の試合は、前半を18 - 3で折り返した花巻北がその勢いを保ち、35 - 11で2回戦へ駒を進めました。しかしその先に待ち構えていたのは不来方高。主将の雫石樹選手(花巻北中出身)を中心に食い下がりますが、全国王者の前に力及ばず、36 - 16で敗れました。また、岩手高との緒戦を48 - 12の大差で飾った花巻南高も、3回戦で不来方高に行く手を阻まれました。花巻勢はことごとく不来方高に敗戦を喫しましたが、日本一のチームと最後に試合ができてよかったのではないのでしょうか。



一方反対側のブロックでは盛岡中央高、そして盛岡四高を延長の未破った盛岡南高が準決勝に進出。準決勝、不来方高を迎え撃ったのは盛岡一高。藤原竜郎選手、高瀬陸選手を中心にあきらめずに攻撃を仕掛け、後半は勝つ勢いも見せましたが、30 - 23で敗退。一進一退の攻防を繰り広げた盛岡南 vs 盛岡中央の対戦は、後半ラストに盛岡南の攻撃を守りきった盛岡中央が24 - 22で勝利。昨年の高校秋季大会に続く決勝進出を決めました。迎えた決勝、不来方高は序盤から疾風怒濤の攻撃

を展開し、あっという間に点差を広げます。盛岡中央はエース田村一輝選手を中心に攻撃を組み立てますが、長身選手を中央に配置し、さらに運動量豊富なトップDFを置いた不来方の守りを崩すことが出来ず、24 - 8で前半を折り返します。後半、不来方高は主力を温存しますが、選手層の厚さによる勢いは衰えず、1・2年生を中心に後半を戦いながらも38 - 21で盛岡中央高を下し、16年連続の優勝を飾りました。閉会式では、安倍竜之介選手が最優秀選手に輝きました。なお、花巻北高主将の雫石樹選手が特別敢闘賞に選ばれました。

<女子> 不来方高との緒戦を迎えた花巻南高。エースの多田夏美選手のロング、望月麻美選手(ともに花巻中出身)の体を張ったポストプレーなどで必死に食らい付き、前半を4点差で折り返しますが、後半でその差を詰めることができず、24 - 15で敗退。緒戦を大差で勝利した花巻農高は、2回戦で古豪・盛岡二高と対戦し、今度は逆に31 - 4で敗北を喫しました。残念…





一方、花巻北は白百合学園との2回戦。佐藤理紗子選手(花巻中出身)を中心に果敢に白百合ゴールを狙いますが、15 - 8で前半を折り返すと後半もその攻撃ペースを打破することができず、31 - 10で敗れ、ベスト4進出はなりませんでした。最終日に残ったのは、不来方、白百合、盛岡南、盛岡二高。例年どおり全校応援をバックに盛岡二高は白百合との準決勝を戦いますが、白百合は徐々に差を広げ、追いつがる盛岡二高の追従を許さず決勝へ駒を進めました。不来方は準決勝前半で8点差をつけるとその差をキープし、堂々の決勝進出を果たしました。怪我で出場できない遠藤主将のためにも勝ちたい不来方、優勝まであと一步のところまできた白百合。



互いにミスが続き波に乗れない時間帯もありましたが、前半はほぼ互角の戦い。後半に入っても一進一退の攻防が続きますが、要所で村松真優 GKがナイスセーブを見せると白百合が一步優位に。延長突入かと思われた終盤、ついに白百合が1点差のリードを死守してゲームセット。白百合学園は歓喜の初優勝となりました。女子の最優秀選手には、ナイスセーブで初優勝に貢献した白百合学園の村松真優 GKが選ばれました。また、花巻南高の望月麻美選手、花巻北の佐藤理紗子選手の2名が特別敢闘賞を受賞しました。男女の上位2チームは、6月21日から開催される東北高総体へ、そして優勝チームは佐賀県で開催される北部九州インターハイに出場します。特に男子・不来方高は、全国高校選抜大会に続く連覇が期待されています。嬉しい報告を楽しみにしたいと思います！

ハンドボールフェスタ IN はなまき メカリー&フジモンが来花！

高校生が熱い戦いを繰り広げている一方で、6月1日、ハンドボールフェスタINはなまきが開催されました。ハンガリー1部リーグで活躍する「ハンドボール界の松岡修造」こと銘苅淳(めかる・あつし)選手、そして銘苅選手の元チームメイト、トヨタ車体所属の藤本純季選手が講師として来てくださいました！まず銘苅選手には、総合型地域スポーツクラブ・エスポックの会員向けのハンドボール体験教室として、まなび学園体育館にてご指導いただきました。初めてハンドボールに触れる子どもたちもたくさんいたようですが、とても楽しかったという感想が多く聞かれました。藤本選手には、午前中に花巻クラブジュニア、花巻北中ハンド部を若葉小体育館にてご指導いただきました。人数



も多く、しかもカテゴリーが違う参加者を教えるのにとっても苦労されていましたが、コーディネーショントレーニングなどを交えた楽しいレッスンで、子どもたちの笑顔が絶えませんでした。午後は、ご両名で花巻中ハンド部男女をご指導いただきました。様々な工夫を凝らしたトレーニングに、時折「ハンドボールは人生だ！」という銘苅選手からの熱いメッセージが織り交ぜられ、中学生たちもトップ選手が話す一字一句に耳を傾けていました。最後は銘苅選手、藤本選手を相手にゲームをして、予定された時間があっという間に過ぎました。生徒たちはお礼として、全員での合唱とエールをプレゼントしました。終わってからも、記念撮影、サイン会が続く、それに丁寧に応えてくれたお二人の姿勢に本当に感動しました。お忙しいところ、しかも銘苅選手にあっては帰国直後に花巻に足を運んでくださって、本当に感謝しています。またお会いできることを楽しみにしています。

翌日お二人は釜石に出向き、普段はサッカーやラグビーに親しんでいる子どもたちを相手にハンドボール体験教室を開催しました。

こちら、初めてハンドボールに触れた

子どもたちがほとんどだったようですが、とても楽しかった、またやりたいという嬉しい反応が多かったようです。このようにスポーツを通じて笑顔が増えるといいですね！

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2013年6月号
2013年6月25日 発行
発行:花巻市ハンドボール協会